

# 参考、天保15年(1844) 五兵衛さん一家の推定経営収支

(新保博『封建的小農民の分解過程』p276を参考に作成)

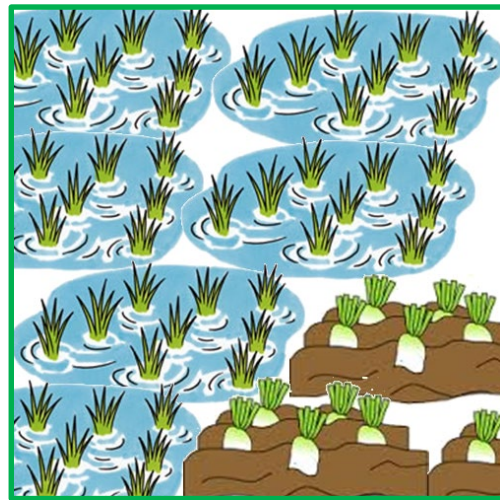
	作付面積(反)	収穫高(石)	年貢(石)	食糧種粃(石)	販売量(石)	販売高(匁)	肥料代(匁)	差引益(匁)
米	5.8	11.6	5.2	3.6	2.8	254.8	145	109.8
菜種	5.4	4.87	—	—	4.87	341.3	184	157.3

※この他に食料として麦3.6石の収穫があり、畑では野菜等が栽培されていた。

田畑: 8反4畝=8330m<sup>2</sup>  
(正方形に直すと1辺は約91.3m)

その内

田 5反8畝=5752m<sup>2</sup>  
畑 2反6畝=2578m<sup>2</sup>



収穫高: 米 11.6石 菜種 4.87石

幕府の公定量 1俵=3斗5升(59.4L)とすると...

年貢 米15俵



販売 米8俵



五兵衛さん

取り分米10俵



販売 菜種14俵



現金収入=販売高-肥料代

米: 銀109.8匁

菜種: 銀157.3匁

幕府の公定レート 銀60匁=金1両とすると...

銀 267.1匁



金 約4両2分



五兵衛さん一家はやや裕福であった。